



和田山城



土塁が残る主郭

所在地：石川県能美市和田町

立地：丘陵頂部、標高36m

城主：和田坊超勝寺、安井家清（柴田勝家家臣）

時期：室町、戦国

見学時間（参考）：20分～1時間

和田山城は国指定史跡能美古墳群のひとつ和田山の南に延びる尾根先端に占地する。

昭和54年（1979）、和田山・末寺山古墳群の発掘調査に伴い城跡の調査が行われたが、築城年代を判定できるような遺物は発見されなかった。



9号墳を再利用した櫓台

「寺井町史第一巻歴史編」によれば、室町中期の永正3年（1506）に越前朝倉氏に追われて亡命してきた和田坊超勝寺によって築城されたとする。その後、天正8年（1580）加賀に侵攻してきた織田方の柴田勝家が家臣安井家清を居城させたと「寺井野町史」は伝えている。

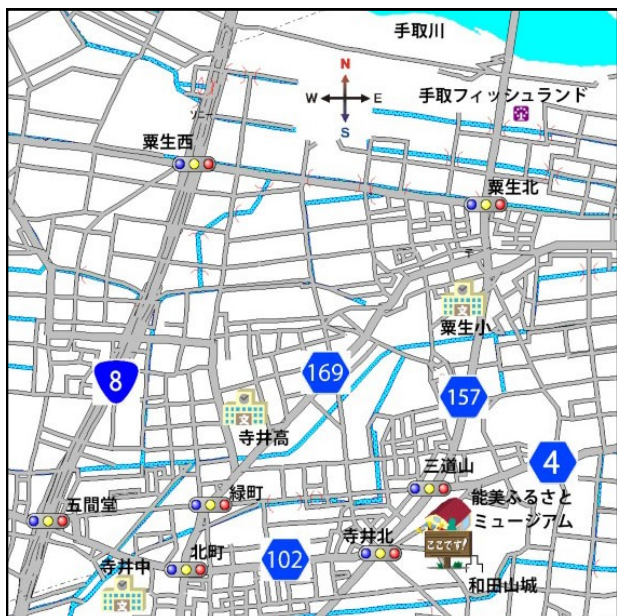
ほぼ中央に枡形虎口を置き、南に主郭（本丸）、北に二の郭（二の丸）を配している。西側斜面は東側斜面と比べ急斜面であり中腹に腰曲輪が通っている。尾根続きの東側は防御強化のため空堀や土塁が築かれている。主郭中央の古墳墳丘（和田山9号墳）や二の郭北側の古墳墳丘（和田山8号墳）は物見用の櫓台として再利用している。北方の尾根続きを空堀で遮断し、櫓台に沿って東に回り込む空堀の東側に計画的な土塁道を設けることで尾根続きから進攻する敵軍を誘い込み、二の郭から横矢が掛かるようにしている。少人数での籠城を可能とする織豊系城郭の特徴が随所に見られる。



8号墳を再利用した櫓台
尾根続き側に土塁が残る



主郭櫓台から白山を望める



枡形虎口



尾根続きを遮断する空堀

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>